



2006年度BCAO分科会報告会

標準化分科会2006年度活動報告 と2007年度の活動案について

2007年4月11日

特定非営利活動法人 事業継続推進機構 (BCAO)
標準化分科会

1. 標準化分科会の目的（再確認）



標準化分科会の活動目的

BC関係の概念や用語の標準化を促進し、またその内容をBCAOとして情報発信することで、BCの普及啓発に貢献する。

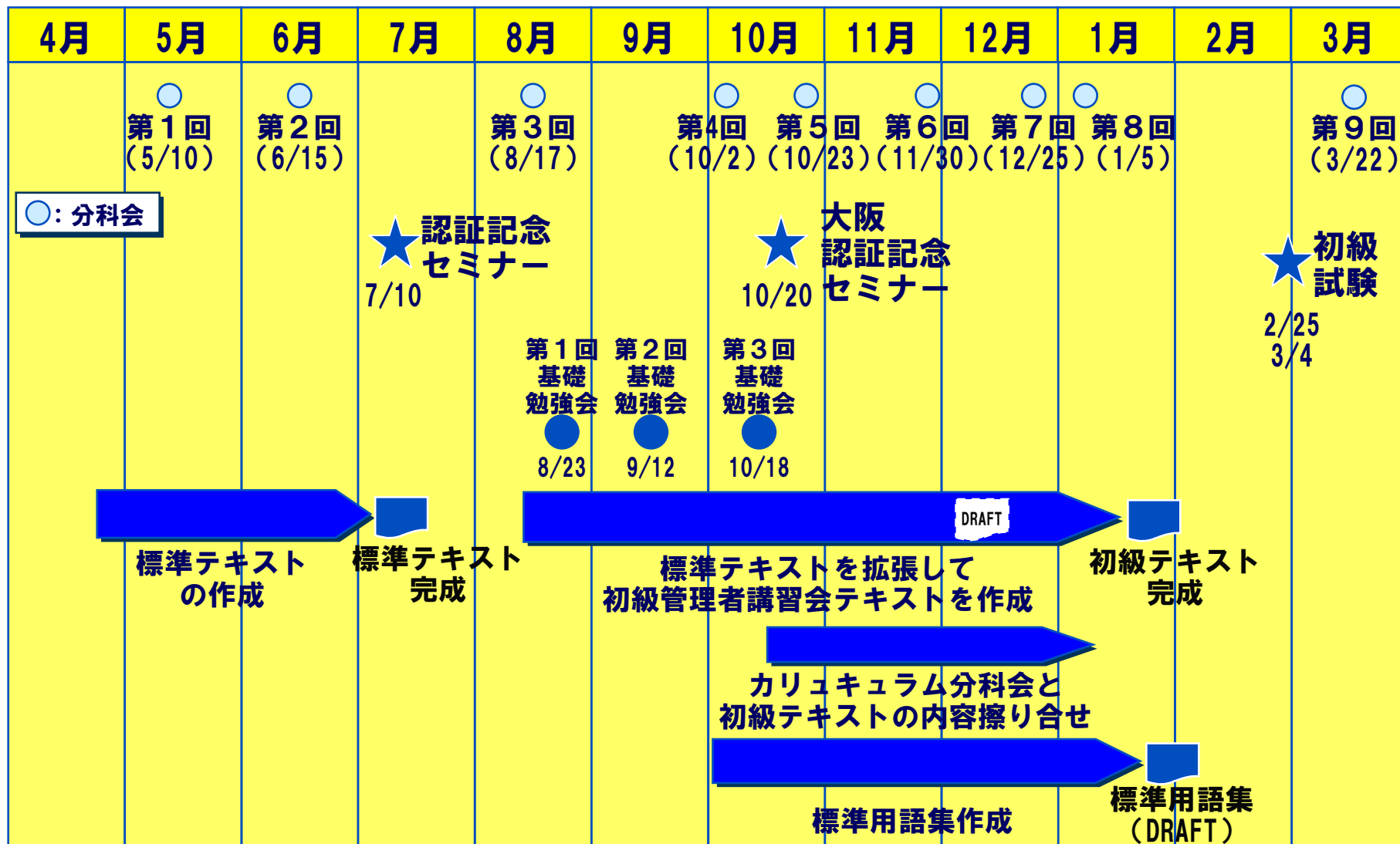
2. 標準化分科会のメンバ



座長	山口真人 (NEC)	
副座長	南宏二 (NTTコミュニケーションズ) 【BCニーズ、動向】 前田泉 (ITプロフェッショナル・グループ) 【事例】	各位の【】内の記述は標準テキスト 又は初級テキストを作成頂いた際の 分担
メンバ (順不動、代理出席された方のお名前は含まず。メーリングリストへの登録者)		
大塚純一 (IBM) 【用語集リーダー】	石田恵一 (ABS Consulting) 【PDCAサイクル、BIA】	和氣弘明 (NTTコミュニケーションズ)
細坪 信二 【PDCAサイクル、BIA】	高橋徳行 (東京海上日動コンサルティング)	青地忠浩 (東京海上日動コンサルティング) 【PDCAサイクル、BIA】
向井健太郎 (富士通) 【用語集サブリーダー】	菊地宏臣 (EMCジャパン) 【用語集】	大沢幸雄 (大成建設)
大森司 (エヌ・ケイ・リスクコンサルティング) 【国内のガイドライン】	中一次 (エヌ・ケイ・リスクコンサルティング) 【国内のガイドライン】	守茂昭 (都市防災研究所)
上田康浩 (前田建設工業) 【用語集】	小原好一 (前田建設工業) 【用語集】	丸谷浩明 (京都大学)
梶浦敏範 (日立製作所)	深谷純子 (IBM)	指田朝久 (東京海上日動コンサルティング)
伊藤毅 (富士通)	磯打千雅子 (日本ミクニヤ)	田中秀宜 (日本ミクニヤ)
赤穂真一郎 (日新火災海上保険)	崎原嘉行 (富士火災海上保険)	斎藤孝行 (富士火災海上保険)
山本晴彦 (個人会員)	東尾正 (日本消防設備安全センター)	川崎渉 (富士通)
下垣豊 (日立製作所)	阿部明子 (NEC)	事務局 小方秀介 (NEC)
事務局 越田真弘 (NEC)		

その他、役員各位及びカリキュラム分科会のメンバの方々から資料提供やレビュー参照等の多大なる支援を頂戴いたしました。

3. 標準化分科会 活動の軌跡



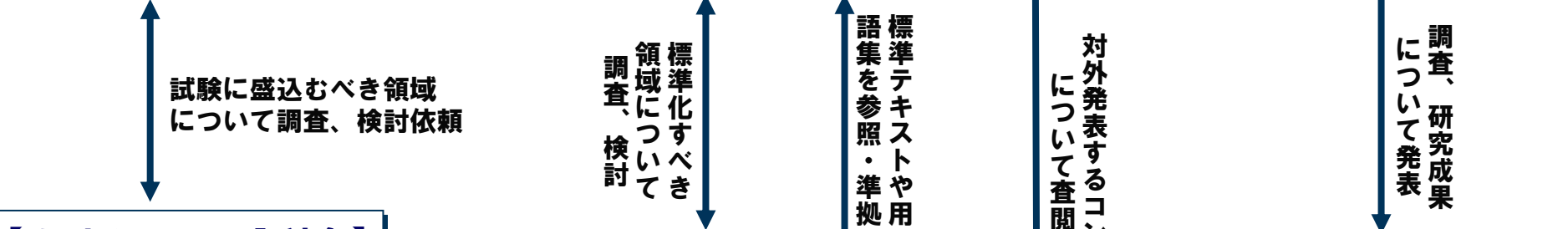
4. 標準化分科会 06年度活動成果



成果物	作業期間	成果（BCAOへの貢献）
標準テキスト作成 （55頁）	2006年4月～ 2006年7月	<ul style="list-style-type: none"> ◆BC関係の概念や用語についてBCAOの考えを明確化（標準化）することに貢献。 ◆認証記念セミナー（東京・大阪）や基礎勉強会の講演資料として利用された。 ◆BCAO会員向けwebからダウンロードが可能となり、会員の啓発及びBCAOの認知向上に貢献。
初級事業継続管理者 講習会テキスト （86頁）	2006年8月～ 2007年2月	<ul style="list-style-type: none"> ◆カリキュラム分科会とも擦り合せながら標準テキストを拡張。 初級管理者が習得すべき基本的な概念や用語について標準化を実現。 ◆初級管理者講習会テキストとして利用された。
標準用語集 （DRAFT）の作成	2006年10月～ 2007年1月	<ul style="list-style-type: none"> ◆初級者を対象にして最低限必要な用語の選出と解説を纏め用語集（DRAFT）を作成。
基礎勉強会講師及び QA対応	2006年8月23日 2006年9月12日 2006年10月18日	<ul style="list-style-type: none"> ◆標準テキストを用いた講演及びQA対応を行い、会員の啓発に貢献。 <p style="margin-left: 40px;"> 第一回（8／23）：前田、青地、小方 第二回（9／12）：南 第三回（10／18）：石田 </p>

5.標準化分科会を中心とした他委員会、分科会との関係

「標準化分科会の役割として理事会、総会で審議中のものを含む」



【カリキュラム分科会】

- 資格制度設計
- 試験実施、資格付与
- 講習会企画、実施
- 講習会、試験コンテンツ作成、改版
- 収支管理 等

試験委員

- 試験問題作成、選定
- 試験の採点、資格認定

【標準化分科会】

- 標準テキスト作成[☆]・改版
- 用語統一、用語集作成
- 標準化チェック機能

講習会コンテンツの査閲依頼

標準化チェック委員

【セミナー分科会】

- セミナー企画、実施
 - 基礎勉強会&月例会
 - その他セミナー

対外発表コンテンツの査閲依頼

本来のオーナーであるカリキュラム分科会にて維持・管理(改版等)
【標準化分科会案】

標準化分科会がオーナー。
定期的改版(1回/年程度)実施

☆標準テキストは2006年度に完成

① B C P の標準化、用語の標準化

- 初級者が習得すべき基本的な概念や用語について標準化を実施。用語集として纏める。
- 具体的に問題になっている B C P の記述内容について標準化の観点よりガイドラインを作成する。

② 標準化の為の各種プロセスの確立

- 用語集として採用する用語の選定と標準用語（併記含む）決定プロセスの確立及び基準の明確化

③ 標準テキストのブラッシュアップ

- 版管理、変更管理、会員からのコメント受け付けと対応。
- コンテンツの改版（1回/年を想定）実施。コンテンツの新規追加や解説付与が必要な場合は別途協議）
※初級テキストの内容を反映した標準テキスト第2版を4月中にリリース予定。